

インスマタル創業60周年

レーザー加工業のインスマタル(本社千葉市緑区大野台1-5-3)が、福井英人社長は昨年10月、創業60周年を迎えた。60周年事業の一環として千葉市の千葉土気緑の森工業団地に建設を進めていた「千葉工場」(千葉市緑区大野台1-5-3)がこのほど完成し、きょう23日に取引先を招いて竣工式典を行う。関東で指折りのレーザー加工能力を生かした小ロット・短納期対応で、金属加工のコンビニとして支持を集める同社のこれまでの歩みや新工場に懸ける思い、今後の方針などを福井社長に聞いた。



福井英人社長

金属加工のコンビニ



今月から本稼働に入った千葉工場

インスマタルの千葉工場は千葉市緑区大野台1-5-3(八街市)に構えていた3工場(八街工場・レーザー溶接センター・製缶センター)の集約と移転拡張を目的とし、総額15億円を投じて建設された。厚物のレーザー加工からレーザー溶接を含む製缶・板金加工までの一貫生産を実現し、本社代替機能も備える基幹拠点としての役割を担う。敷地面積1万3408平方メートルで、敷地面積の約8割が広大な事業用地を確保し、将来の拡張余地も十分に、新たに導入した発振器出力18キロワットの最新鋭ファイバーレーザー切断機をはじめとする豊富な加工設備と3工場を増ってきた技術・ノウハウを駆使してさらなる飛躍を目指す。

千葉工場が完成

千葉工場のコンセプトは「安全で生産性の高い工場」。厚物加工拠点の八街工場では近年、受注増に伴い、母材や製品が工場内で高く積み上がる光景が常態化していたことから、安全な作業環境を整えることを最優先と考え、2020年ごろから移転先となる候補地を探していた。

折しも世の中は新型コロナウイルスの感染拡大が始まったばかりで、不要の外出は自粛することが推奨されていた。会社から出られなくなった福井社長は「移転先を

探すようという機会と気持ち八街市に構えていた3工場(八街工場・レーザー溶接センター・製缶センター)の集約と移転拡張を目的とし、総額15億円を投じて建設された。厚物のレーザー加工からレーザー溶接を含む製缶・板金加工までの一貫生産を実現し、本社代替機能も備える基幹拠点としての役割を担う。敷地面積1万3408平方メートルで、敷地面積の約8割が広大な事業用地を確保し、将来の拡張余地も十分に、新たに導入した発振器出力18キロワットの最新鋭ファイバーレーザー切断機をはじめとする豊富な加工設備と3工場を増ってきた技術・ノウハウを駆使してさらなる飛躍を目指す。

「以前は会社の規模が今の1/3程度で、社員も10人程度しかいなかった。現在は、社員が100人を超え、設備も充実した。2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

3工場集約、加工能力増強 板厚40ミリのレーザー切断挑む

0坪の事業用地の取得にきつ

今月から本稼働に入った千葉工場は、敷地面積3798平方メートル、3工場(八街工場・レーザー溶接センター・製缶センター)の集約と移転拡張を目的とし、総額15億円を投じて建設された。厚物のレーザー加工からレーザー溶接を含む製缶・板金加工までの一貫生産を実現し、本社代替機能も備える基幹拠点としての役割を担う。敷地面積1万3408平方メートルで、敷地面積の約8割が広大な事業用地を確保し、将来の拡張余地も十分に、新たに導入した発振器出力18キロワットの最新鋭ファイバーレーザー切断機をはじめとする豊富な加工設備と3工場を増ってきた技術・ノウハウを駆使してさらなる飛躍を目指す。

今月から本稼働に入った千葉工場は、敷地面積3798平方メートル、3工場(八街工場・レーザー溶接センター・製缶センター)の集約と移転拡張を目的とし、総額15億円を投じて建設された。厚物のレーザー加工からレーザー溶接を含む製缶・板金加工までの一貫生産を実現し、本社代替機能も備える基幹拠点としての役割を担う。敷地面積1万3408平方メートルで、敷地面積の約8割が広大な事業用地を確保し、将来の拡張余地も十分に、新たに導入した発振器出力18キロワットの最新鋭ファイバーレーザー切断機をはじめとする豊富な加工設備と3工場を増ってきた技術・ノウハウを駆使してさらなる飛躍を目指す。

今月から本稼働に入った千葉工場は、敷地面積3798平方メートル、3工場(八街工場・レーザー溶接センター・製缶センター)の集約と移転拡張を目的とし、総額15億円を投じて建設された。厚物のレーザー加工からレーザー溶接を含む製缶・板金加工までの一貫生産を実現し、本社代替機能も備える基幹拠点としての役割を担う。敷地面積1万3408平方メートルで、敷地面積の約8割が広大な事業用地を確保し、将来の拡張余地も十分に、新たに導入した発振器出力18キロワットの最新鋭ファイバーレーザー切断機をはじめとする豊富な加工設備と3工場を増ってきた技術・ノウハウを駆使してさらなる飛躍を目指す。

今月から本稼働に入った千葉工場は、敷地面積3798平方メートル、3工場(八街工場・レーザー溶接センター・製缶センター)の集約と移転拡張を目的とし、総額15億円を投じて建設された。厚物のレーザー加工からレーザー溶接を含む製缶・板金加工までの一貫生産を実現し、本社代替機能も備える基幹拠点としての役割を担う。敷地面積1万3408平方メートルで、敷地面積の約8割が広大な事業用地を確保し、将来の拡張余地も十分に、新たに導入した発振器出力18キロワットの最新鋭ファイバーレーザー切断機をはじめとする豊富な加工設備と3工場を増ってきた技術・ノウハウを駆使してさらなる飛躍を目指す。

「ものづくり」の腕磨く

「取引先の皆さまも同業の仲間にも恵まれたこと、何より社員に恵まれたことが大きい」と感謝している。自分一人では力も限られ、家族を養うことすら難しい。社員の成長を促すべく、これまで以上にサポートを続けてきた。今後は、さらなる飛躍を目指す。

「以前は会社の規模が今の1/3程度で、社員も10人程度しかいなかった。現在は、社員が100人を超え、設備も充実した。2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

60年の歩み

インスマタルは1963年10月10日、墨田区石原で『福井シャリング』として創業した。創業者の福井賢氏は同業を経て独立し、中古のシャリング機1台をもち、茂子夫人との二人脚で企業家としての第一歩を踏み出した。

地道に業容を拡大し、創業20年を迎えるころには4台のシャリング機を稼働させるほどに成長したが、このままシャリング加工を生業としていくと将来の伸びが見込めないと考え、次の一手を模索するようになった。その時、英人社長が現職の福井賢氏と出会い、社業の発展に力を貸すことになった。

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

安全最優先に移転決断 100年企業目指す

工場では切断後の次工程である折り曲げや溶接も同一工場で一貫対応できるようにした。本社は千葉市緑区大野台1-5-3にあり、敷地面積1万3408平方メートルで、敷地面積の約8割が広大な事業用地を確保し、将来の拡張余地も十分に、新たに導入した発振器出力18キロワットの最新鋭ファイバーレーザー切断機をはじめとする豊富な加工設備と3工場を増ってきた技術・ノウハウを駆使してさらなる飛躍を目指す。

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母



最新鋭の出力18キロワットファイバーレーザー切断機

安全最優先に移転決断 100年企業目指す

工場では切断後の次工程である折り曲げや溶接も同一工場で一貫対応できるようにした。本社は千葉市緑区大野台1-5-3にあり、敷地面積1万3408平方メートルで、敷地面積の約8割が広大な事業用地を確保し、将来の拡張余地も十分に、新たに導入した発振器出力18キロワットの最新鋭ファイバーレーザー切断機をはじめとする豊富な加工設備と3工場を増ってきた技術・ノウハウを駆使してさらなる飛躍を目指す。

「先代が父の福井賢(故人)が、2016年に他業が東京・本所地区で『福井シャリング』を興した。母